

ラポール藤沢(稲荷)は、生活クラブ組合員によるカンパを建設資金に活用して、日本初の生協立の特別養護老人ホームとして1994年に建設されました。建物は引地川沿いにあり増水・氾濫が懸念されたため、2019年に善行に移転しました。その後1階はデイケア・ケアプランセンターとして事業を継続しています。空いている2階3階はラポール藤沢を運営している社会福祉法人いきいき福祉会、生活クラブ・湘南生活クラブとともに、利活用のための市民円卓会議を開催し、様々な団体・個人が集まって「ラポール利活用プロジェクト実行委員会」が2024年の秋に立ち上がりました。

ラポール利活用プロジェクト実行委員会には、呼びかけ団体であるいきいき福祉会や湘南生活クラブをはじめ、市民団体として「リトルハブホーム」「育ちあひろばてとて」他、意志ある市民(アソシエーション)が参加しています。12月7日にキックオフイベントを開催し、ペンキ塗り、ランチをしながら参加者同士の交流などがありました。

2月16日(日) ラポール稲荷利活用企画第2弾「壁にペンキでお絵描きしちゃおう!(カレーライス付き)イベントを開催しました。今回はその報告になります。



お菓子を上手に揃えるかな?

辻堂で活動する「えがおの駄菓子屋さん」が、子どもたちはビニルプールを囲み駄菓子づくりに夢中になりました。お昼は前回に続き、近隣で農業をされている長谷川さんの田んぼで収穫したお米に、生活クラブの豚肉と野菜を使ったカレーを作りみんなで食べて交流しました。

子どもたちが館内を自由に走り回り、大人も子どもも笑顔が溢れ普段は人気がないフロアが息を吹き返しました。

昼食後は希望する人が集まり、NPO法人育ち合い広場・てとてとの小川智子さん、一般社団法人リトルハブホームの岩崎愛さん、ラポール稲荷を運営する社会福祉法人いきいき福祉会の市村慶子さんが進行役となって、それぞれ自己紹介しラポール稲荷の今後の利活用について話し合いました。



←奥で相談しているお二人が、岩崎さん(左)と小川さん(右)

ホワイトボードの横にいるのが市村さん →

音楽会、お祭り、文化祭、子どものイベント、水遊び兼掃除、コワーキングスペースなど、楽しいアイデアがたくさん飛び出しました。隣接する畑で野菜や雑穀を作る農福連携や、食とアートの体験、児童育成支援の拠点など、ラポール稲荷を軸に様々な人やアソシエーションがつながり地域の人が集う場として、社会の課題を解決し、それぞれの想いを表現し実現する場となるよう、これからも話し合いは続きます。

地域で活動するアソシエーションの力とネットワークは果てしなく、これからも関わりと融合を楽しみに活動していきます。(かみいしりえ)



親子で並んで

地域の方をはじめ、おおぜいの方に参加とこの取り組みに興味を持って頂くために、チラシを作成しこのプロジェクトに参加する団体や個人と関係のある方々、デイサービスを利用される方のご家族、稲荷地区の回覧板、近隣中学校の美術部にも配布しました。

当日は善行駅と会場を往復するシャトルバスも運行し、回覧版を見たご近所の方から、千葉や横浜で市民活動されている方や更に遠く熊本で拠点事業をされている方など、これまでのつながりがある方から、なかった方まで、子どもを含め総勢60名を超える方が参加され、2階フロアや廊下の壁いっぱいペンキやクレヨンを使って思い思いに絵を描き、大きなアート空間をつくりました。



↓お待ちかね。カレーに並びます。



↑大鍋で作ったカレーはおいしいよね

発行：2025年3月20日  
発行者：(特非) 全員参加による地域未来創造機構 (略称：未来機構)  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館3F  
Tel:045-534-7131 Fax:045-534-7151  
E-mail:minnano@miraikikou.org

# みんなの未来きこう



発行：(特非) 全員参加による地域未来創造機構  
発行責任：希代監

## 2025年度講座のご案内

「たすけあい・支えあい」を担う人材の育成とボランティア・アソシエーションの創出をめざします  
市民基礎講座を4会場で開催します。



	横浜会場	かわさき会場	湘南会場	県央-さがみ会場
日程	5/29(木)	5/22(木)	5/23(金)	5/19(月)
	6/4(水)	6/11(水)	6/4(水)	6/5(木)
	7/1(火)	6/23(月)	6/26(木)	6/16(月)
	7/16(水)	7/11(水)	7/3(木)	7/2(水)
主会場	かながわ 県民センター	てくの かわさき	茅ヶ崎市 コミュニティホール	海老名市 文化会館
	NPO 法人てと てと陽だまり	自然堂 (JINEN-DO)	一般社団法人 ミライエ	えがわさんち

キャリアアップ講座は14プログラム開催します。

5/29 身体機能を維持向上させる体操	6/18 認知症の方とのコミュニケーション
7/10 傾聴を学ぶ ～傾聴の基礎～	9/10 ストレスマネジメントの理論と方法「怒りのマネジメント」
9/19 ボディメカニクスを活用した移動・移乗	9/23 メンタルヘルスについてココロとカラダの元気のためのセルフケア+α
10/7 精神疾患を持つ方への接し方～理解と対応のヒント～	10/22 コーチング論(基礎編)職場内コミュニケーションとリーダーシップ
11/12 コーチングについて(応用編)ティーチングとの使い分け・活用方法	11/19 ハラスメント防止に向けたストレスケアのための対人心理
12/18 ネットワークづくりの視点	26/1/14 介護過程 介護サービスを提供するためのプロセスと考え方
26年 介護職のための薬の知識	26年 発達障害
介護現場での正しい服薬介助	～一人一人の個性に寄り添う支援～



地域を豊かにするための連続講座は今秋開講予定です

詳しい時間、場所は講座特集・ホームページをご確認ください。



## 総会記念講演

オンライン講演(ZOOM)

## いま、なぜ「こども食堂」なのか?

湯浅 誠氏

東京大学先端科学技術研究センター特任教授、経済同友会会員、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長

日時：2025年6月10日(火)15:00～16:30 会場：新横浜スペースオルタ (オンライン講演)



かつて家族や地域が果たしてきた「支え合う」機能が失われてきているいま、地域にさまざまなアソシエーションが生まれ、たすけあい・支えあいのコミュニティづくり、つながりづくりから事業や活動を生み出していく意味はますます大きくなっています。問題は、「貧困」と「孤立」が深くかかわっていて、特に子ども・若者の貧困が孤独・孤立を深める要因となる懸念が大きいことです。地域で子どもを見守り、多世代・多様な市民どうしがコミュニケーションを深める場・機会となる「こども食堂」や「こどもの居場所」の存在はとても重要になっています。いま、なぜ、「こども食堂」なのか?地域の中で広がりを見せる「こども食堂」とはどういう存在なのか?その背景にある貧困や孤立の現状なども含めて湯浅さんのお話を聞き、2025年度へ向けた活動の指針にしていきたいと考えます。

## 第3回通常総会

日時：2025年6月10日(火) 14:00～15:00  
会場：新横浜スペースオルタ

お申込み切：5月30日(金)

お申込みはこちらから



(特非) 全員参加による地域未来創造機構 (略称：未来機構)



〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館3F

TEL:045-534-7131 FAX:045-534-7151

E-MAIL:minnano@miraikikou.org URL:https://www.minnanomiraikikou.org



# 2025地域未来フォーラム 市民活動がだれかの薬になる!? —「社会的処方」という実践—

2月19日(水) 14:00~16:30

## 【基調講演】暮らしの保健室と社会的処方 ~まちとのつながりで人が元気になる方法

西智弘さん 一般社団法人プラスケア代表理事・医師

一般社団法人プラスケア代表理事の西智弘さんからお話を聞きました。医師として病院に勤務しながら「暮らしの保健室」の運営も行っています。社会的処方とは薬で人を健康にするのではなく、人と地域とのつながりで人を元気にする仕組みです。



### 病気になるっても安心して暮らせるまち

精神的・社会的孤立により、死亡率が高くなるということが研究結果からもわかっていましたが、日本でも2024年4月「孤独・孤立対策推進法」ができました。この法の基本理念には、孤独・孤立の状態はだれにでもありうることで、国や自治体だけでなく、国民が自分事として考え協力しあう必要性が書かれています。

西さんはがんの専門医ですが、がんを診断された人が社会や友人と切り離され孤立していくことに悩み、「暮らしの保健室」を立ち上げたといいます。病院に行くほどではないちょっとした悩みや、病院では相談しにくい悩みなどをおいしいコーヒーを飲みながら気軽に話ができて、つながれる場をつくりました。ふらっときて映画の話などをしていううちに自分の悩みを話し出すこともあり、病気になるっても安心して暮らせるまちをめざしています。

### 安心して孤独でいられる社会を

イギリスでは1980年ごろから社会的処方の取り組みが始まっており、2016年には全国的なネットワークができていて、100以上の社会的処方の仕組みがあります。その結果、孤独や社会的孤立の改善などの効果があり、さらに医療コストも削減されました。

日本においては、DanceWellという、ダンスという芸術活動を通して社会的処方を実践するアソシエーションの紹介がありました。パーキンソン病と共に生きる人を筆頭に誰もが参加できます。病のために動きに自信がなかった人が、DanceWellの活動を通して表現の幅が広がり、映像作品にも参加するようになったといいます。

西さんは、孤独そのものが悪いのではなく、自分が病気になるっても障害を抱えても誰かが自分とつながり続けてくれると信じられる社会—「安心して孤独でいられる社会」を拡げたいと強調しました。

### 社会的処方を文化に

また、イギリスで実践されている医療者とコミュニティグループをつなぐ「リンクワーカー」の重要性についてもお話しされました。日本においても様々な活動がすでにあるが、横のつながりが乏しい、橋渡しをするリンクワーカー的役割が各地域に必要といいます。



「社会的処方を文化にしたい。地域でつながりたいと思ったらつながれる社会をひろげていきたい。」という西さんの言葉が印象的でした。それには、やはり様々なアソシエーションが様々な活動し、ネットワークして地域つくっていく必要性を改めて感じました。(報告：競 啓子)

## 【事例報告】

●木村里美さん、●石川昭子さん

### 事例報告① 木村里美さん (株)こころ代表取締役、あゆむ訪問看護チーム 管理者、あゆむ庵代表 「あゆむ訪問看護チーム」が作った、看護師 と助産師がいる多世代コミュニティス ペース「あゆむ庵」がめざすこと



木村さんは一男一女の母親で看護師。子育てが一段落したのを機に、訪問看護師として働きはじめ、2021年に「あゆむ訪問看護チーム」を立ち上げた。自身のつらい重症悪阻の経験がきっかけとなった産前産後のケアをはじめ、今では新生児から高齢者まで家族丸ごと寄り添ってのサポートを提供している。

さらに「訪問看護卒業後も、集えて再会できる場所」がほしいと考え、2024年、JR武蔵新城駅近くに多世代コミュニティスペース「あゆむ庵」をオープン。木村さんが「たまらなく好き」という築67年のリノベーションされた古民家で、有料休憩スペース、親子で楽しめるワークショップ、育児支援講座などが開かれている。昨年の夏祭りには300人の参加があったとのこと。

今後は、「あゆむ庵」を通じて普段から繋がりを持ち、困ったときに相談できるツールの一つになることをめざしたいとの報告があった。



### 事例報告② 石川昭子さん NPO法人ワーカーズ・コレクティブたすけあい戸塚 理事・サービス提供責任者 訪問介護事業と、誰でも来れる「ふれあい広場よつば」の実践



たすけあい戸塚は、1990年、ワーカーズ・コレクティブの自主活動として「困ったときはお互いさま」のたすけあい活動からスタート。1999年に特定非営利活動法人を取得し介護保険制度に参入。併せて自主(よつば)事業のヘルパー派遣も行い、子育て支援、介護保険利用できない方の人生に寄り添う活動続けている。

2008年から町内会館で活動していたが、誰もがふらっと寄れる地域のたまり場が必要と、現在の場所に移転して2012年から「ふれあい広場よつば」を始めた。編み物、健康麻雀、椅子ヨガをはじめ多様なサロンが開催されており、若い方から高齢の方、たすけあい戸塚のOGが「この場所があってよかった」と笑顔で関わってくれるとのこと。地域向けのセミナーやバザーも大盛況で、戸塚の人たちの交流の場となっている。石川さんからは、「たすけあい戸塚の活動が、誰かのやりがいや心のよりどころとなり、地域に還元されていると信じている」との報告があった。

## 【トークセッション】「社会的処方の実践」まとめ

登壇者：西智弘さん、木村里美さん、石川昭子さん  
コーディネーター：佐野 めぐみさん 生活クラブ神奈川副理事長

自分が望む社会の実現に向けて、一歩踏み出そう  
活動の立ち上げは小さく無理のない範囲からというのが重要。仲間が集まりニーズが高まったところから拡大させていく。資金の確保は、制度事業で収益をあげながらセットですすめる。

または、寄付メニューを作るなどして寄付で運営することをめざす手もある。地域や人のつながりづくりは、まちに出て情報を集め発信し、仲間を募るなど地道に積み上げていくしかない。

(報告：桜井 薫)

### 1~2年で出る成果を求めず、100年後をみよう

社会は短期間で変わらないのは当たり前、しかし、100年前と今では価値感は確実に変化している。人と人とのつながりを大事する今の活動が100年後に社会をより良い方向へ変えていると信じて、次世代に思いをつないでいこう。



Youtube動画アーカイブはこちら  
<https://youtu.be/xvmeWEe7zUs>



2025フォーラム 2025  
7571-571 2025  
7571-571 2025